

24年度第2四半期(1-6月) 決算説明資料

2024年8月

株式会社タダノ

<特記事項>

- 本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでおります。
- 需要、シェアの取り扱いについて：需要台数は当社推計にて10台単位に四捨五入、シェアは小数点以下を四捨五入しております。また、需要にはロシア国産、中国国産の中国市場向けは含んでおりません。

決算のポイント

- ✓ 売価改善の効果や為替等の影響により増収増益

(単位：百万円)

	23年 1-6月		24年 1-6月		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
売上高	133,267	100%	141,381	100%	8,114	6.1%
営業利益	8,797	6.6%	12,283	8.7%	3,486	39.6%
経常利益	7,820	5.9%	10,942	7.7%	3,122	39.9%
親会社株主当期純利益	3,250	2.4%	5,185	3.7%	1,935	59.5%

設備投資額	1,339	2,255
減価償却費	2,330	2,490

※設備投資にはリース資産分を含んでおりません。

USD	134.9円	152.3円
EUR	145.8円	164.6円

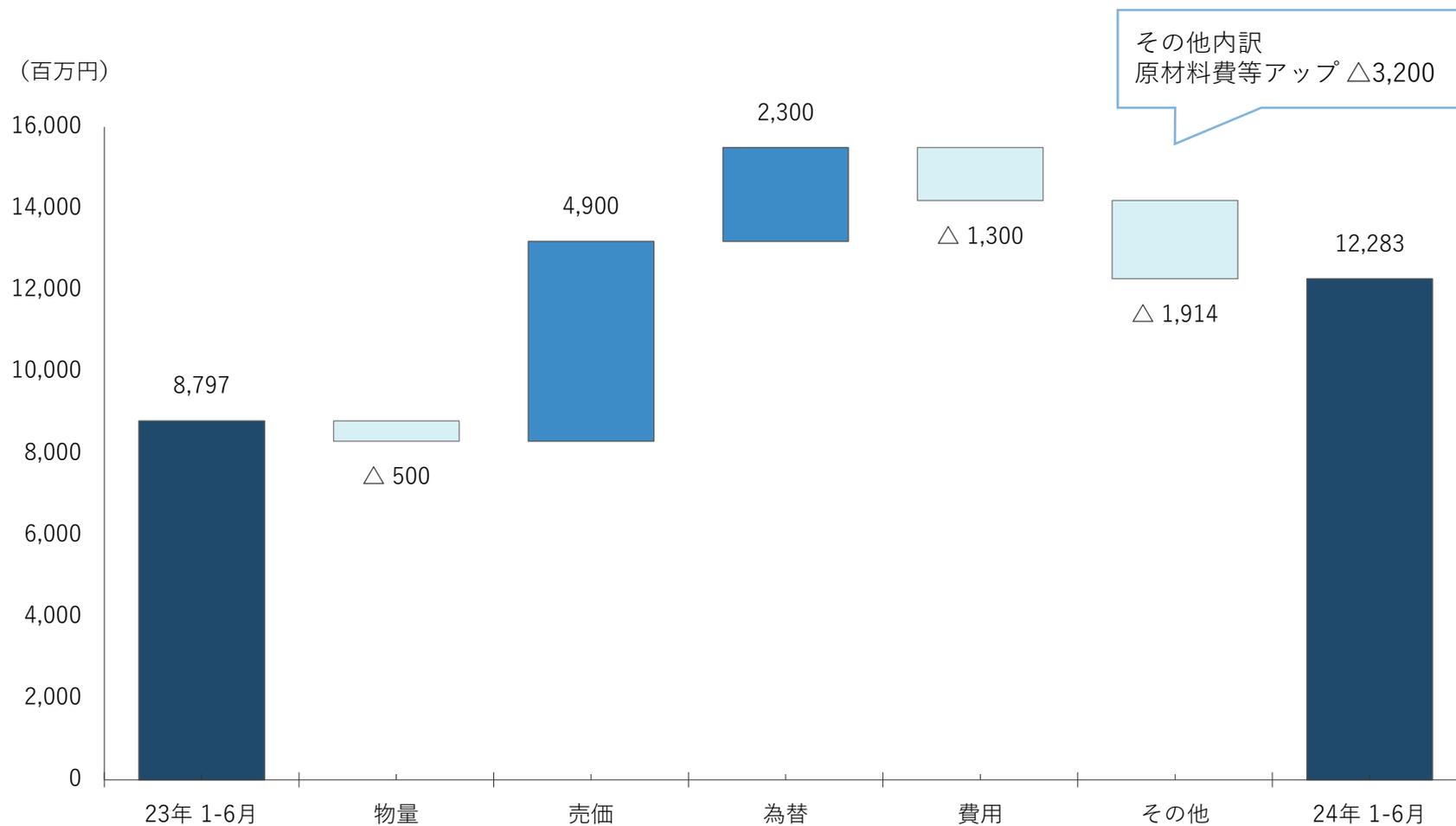
損益計算書

(単位：百万円)

	23年 1-6月		24年 1-6月		増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	133,267	100%	141,381	100%	8,114
売上原価	97,163	72.9%	98,598	69.7%	1,434
売上総利益	36,104	27.1%	42,783	30.3%	6,679
販管費	27,306	20.5%	30,499	21.6%	3,193
営業利益	8,797	6.6%	12,283	8.7%	3,486
営業外損益	△ 977	△0.7%	△ 1,340	△0.9%	△ 363
経常利益	7,820	5.9%	10,942	7.7%	3,122
特別損益	64	0.0%	△ 694	△0.5%	△ 758
税引前当期純利益	7,884	5.9%	10,248	7.2%	2,363
法人税等	4,394	3.3%	5,072	3.6%	678
非支配株主当期純利益	239	0.2%	△ 10	△0.0%	△ 249
親会社株主当期純利益	3,250	2.4%	5,185	3.7%	1,935

営業利益増減要因

✓ 原材料費等が上昇する中、売価改善や為替影響により営業利益は34億円増加



貸借対照表

✓ 生産制約・為替等の影響により棚卸資産増加

	23年 12月末	24年 6月末	増減
手許資金	94,343	75,034	△ 19,309
売上債権	50,346	46,241	△ 4,104
棚卸資産	122,282	146,748	24,465
その他	11,248	8,859	△ 2,389
流動資産計	278,221	276,882	△ 1,338
有形固定資産	65,952	67,432	1,480
無形固定資産	2,612	6,100	3,487
投資その他の資産	18,457	19,315	858
固定資産計	87,023	92,848	5,825
資産合計	365,244	369,731	4,487

(単位：百万円)

	23年 12月末	24年 6月末	増減
仕入債務	48,438	45,457	△ 2,980
有利子負債	91,315	86,982	△ 4,333
その他	44,136	47,538	3,402
負債計	183,890	179,978	△ 3,911
純資産計	181,354	189,753	8,398
負債・純資産計	365,244	369,731	4,487

	23年 1-12月	24年 1-6月
売上債権回転期間	65.6日	59.5日
棚卸資産回転期間	159.3日	188.9日
自己資本比率	49.6%	51.2%

製品別売上高

✓ 全ての製品セグメントで増加

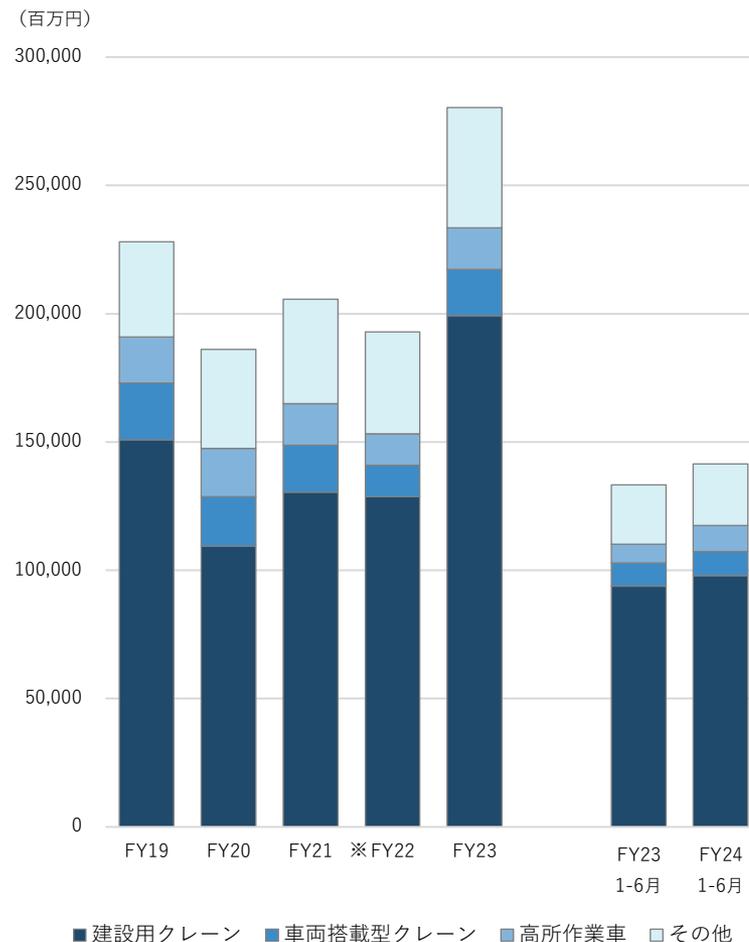
(単位：百万円)

	23年	24年	増減	
	1-6月	1-6月	金額	増減率
建設用クレーン	93,782	97,813	4,031	4.3%
車両搭載型クレーン	9,064	9,389	324	3.6%
高所作業車	7,272	10,133	2,861	39.3%
その他	23,148	24,045	896	3.9%
合計	133,267	141,381	8,114	6.1%

建設用クレーン、日本向け及び海外向け売上高

日本	24,752	23,186	△ 1,565	△ 6.3%
海外	69,030	74,627	5,597	8.1%
合計	93,782	97,813	4,031	4.3%

製品別売上高



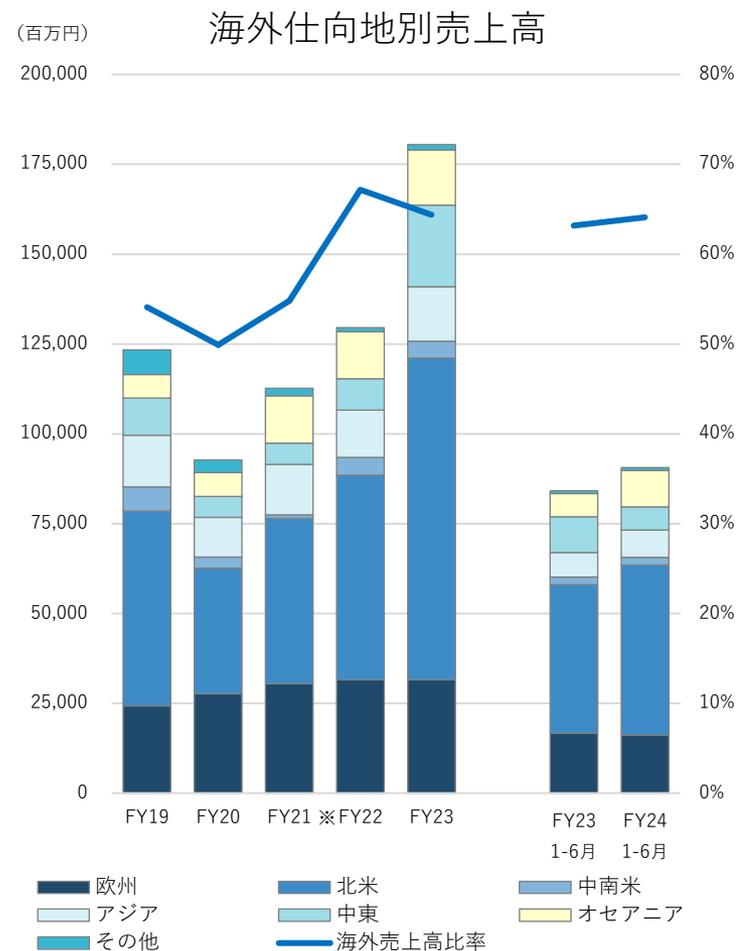
※22年度に連結対象会社の決算日を12月末に統一したため、FY21以前は3月期決算、FY22以降は12月期決算となります。
また決算期変更の経過期間となるFY22は9ヶ月変則決算数値となります。

仕向地別売上高

✓ 北米・オセアニア等で増加、欧州・中東は減少

(単位：百万円)

	23年	24年	増減	
	1-6月	1-6月	金額	増減率
欧州	16,686	16,176	△ 510	△3.1%
北米	41,352	47,329	5,976	14.5%
中南米	2,143	2,179	35	1.6%
アジア	6,750	7,510	759	11.3%
中東	9,997	6,466	△ 3,531	△35.3%
オセアニア	6,501	10,201	3,700	56.9%
その他	750	751	1	0.1%
小計 (海外計)	84,182	90,614	6,432	7.6%
日本	49,084	50,767	1,682	3.4%
合計	133,267	141,381	8,114	6.1%
海外売上高比率	63.2%	64.1%		



※右側のグラフには日本を含んでおりません。

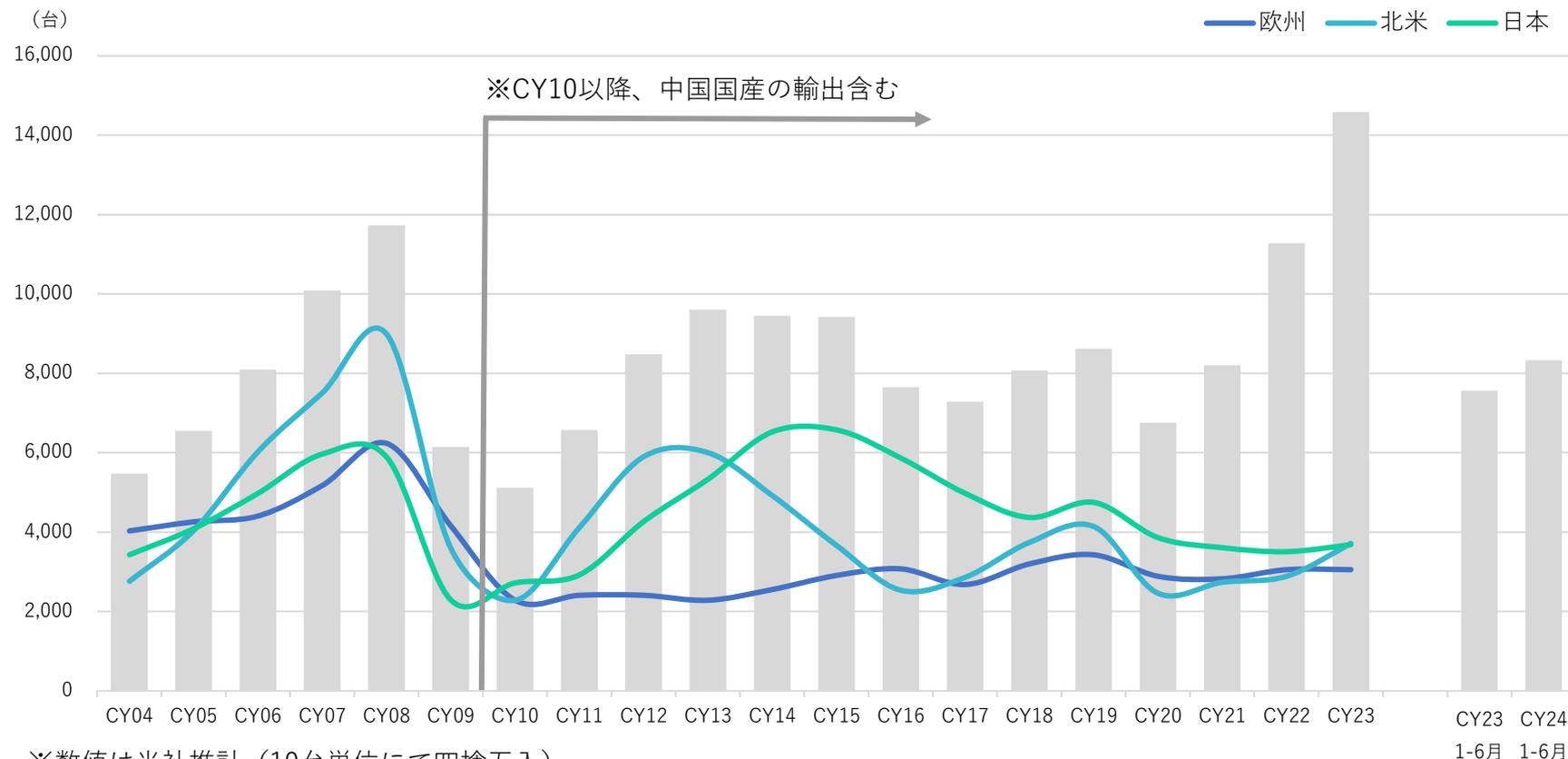
※その他は、アフリカ、CISを含んでおります。

※22年度に連結対象会社の決算日を12月末に統一したため、FY21以前は3月期決算、FY22以降は12月期決算となります。

また決算期変更の経過期間となるFY22は9ヶ月変則決算数値となります。

建設用クレーンの世界需要推移（暦年ベース）

折れ線は各市場の需要ボトムの前年を1とし、各年の比率推移を表します。
 （基準年 北米・欧州：2010年、日本：2009年）



※数値は当社推計（10台単位にて四捨五入）

※ロシア国産は上記に含まず

※CY10以降、中国国産の輸出含む

※中国国産の中国市場向けは上記に含まず。中国市場における中国国産の需要推移は次の通り

(千台)

CY12	CY13	CY14	CY15	CY16	CY17	CY18	CY19	CY20	CY21	CY22	CY23
22	17	14	9	9	20	32	42	54	46	22	19

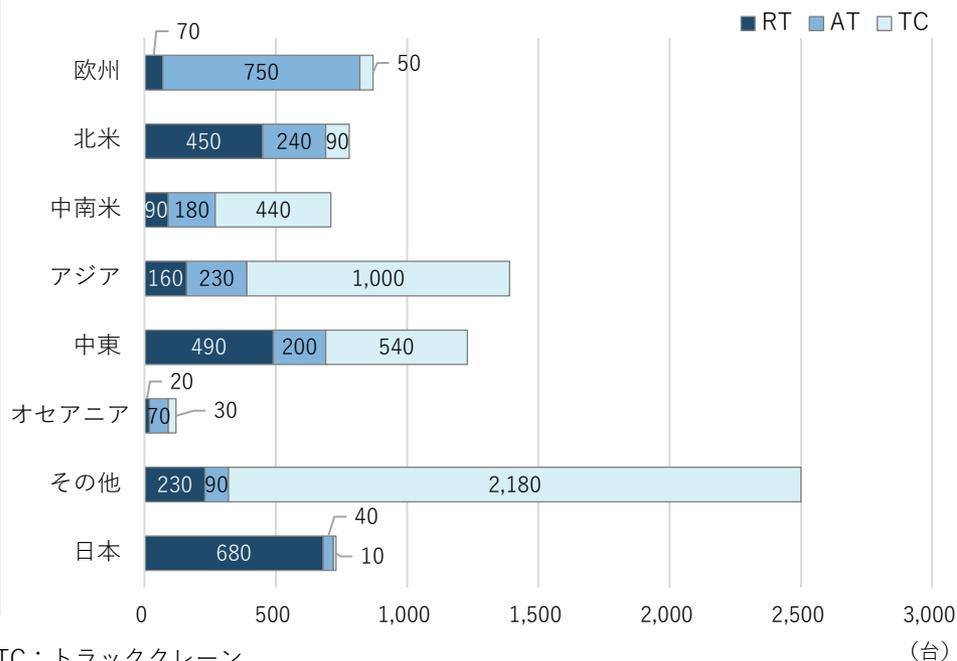
建設用クレーン(RT・AT・TC)

- ✓ 需要は中南米と中東で大幅増、合計約10%増
- ✓ 世界シェア 15% → 12%



AC 7.450-1

24年 1-6月 機種別需要



	需要			シェア	
	23年 1-6月	24年 1-6月	増減率	23年 1-6月	24年 1-6月
欧州	790台	870台	10.1%	9%	7%
北米	680台	780台	14.7%	40%	38%
中南米	350台	710台	102.9%	7%	1%
アジア	1,520台	1,390台	△8.6%	5%	6%
中東	740台	1,230台	66.2%	18%	6%
オセアニア	300台	120台	△60.0%	18%	36%
その他	2,400台	2,500台	4.2%	0%	0%
海外計	6,780台	7,600台	12.1%		
日本	780台	730台	△6.4%	61%	59%
合計	7,560台	8,330台	10.2%	15%	12%

※ RT：ラフテレーンクレーン、AT：オールテレーンクレーン、TC：トラッククレーン
 ※その他は、アフリカ、CISを含んでおります。

車両搭載型クレーン

✓ 日本トラック登録台数減少も、売上増加

〈仕向地別売上高〉

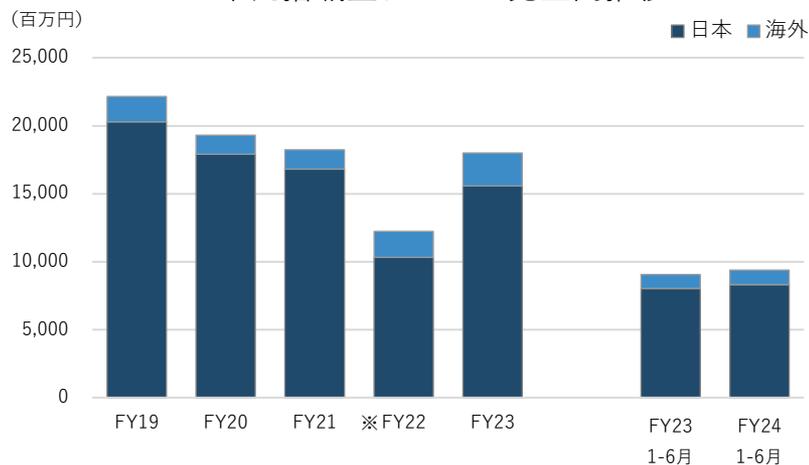
(単位：百万円)

	23年	24年	増減	
	1-6月	1-6月	金額	増減率
日本	8,047	8,314	267	3.3%
海外	1,017	1,074	57	5.6%
合計	9,064	9,389	324	3.6%

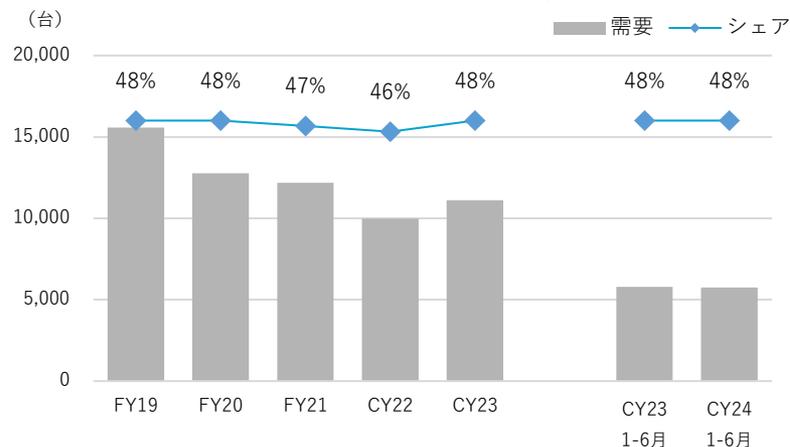


ZX360/300シリーズ

車両搭載型クレーン売上高推移



日本需要・シェア推移



※22年度に連結対象会社の決算日を12月末に統一したため、FY21以前は3月期決算、FY22以降は12月期決算となります。
また決算期変更の経過期間となるFY22は9ヶ月変則決算数値となります。

※FY:4月～3月, CY:1月～12月

高所作業車

- ✓ トラックシャシ供給制約により日本需要減少も、
長野工業(現：タダノユティリティ)買収効果もあり、売上増加

〈仕向地別売上高〉

(単位：百万円)

	23年	24年	増減	
	1-6月	1-6月	金額	増減率
日本	7,228	9,473	2,245	31.1%
海外	44	660	615	1,387.9%
合計	7,272	10,133	2,861	39.3%

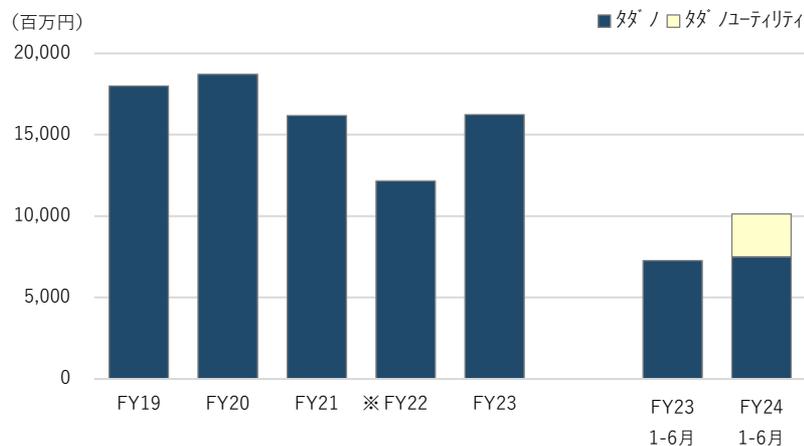


AT-280XTG

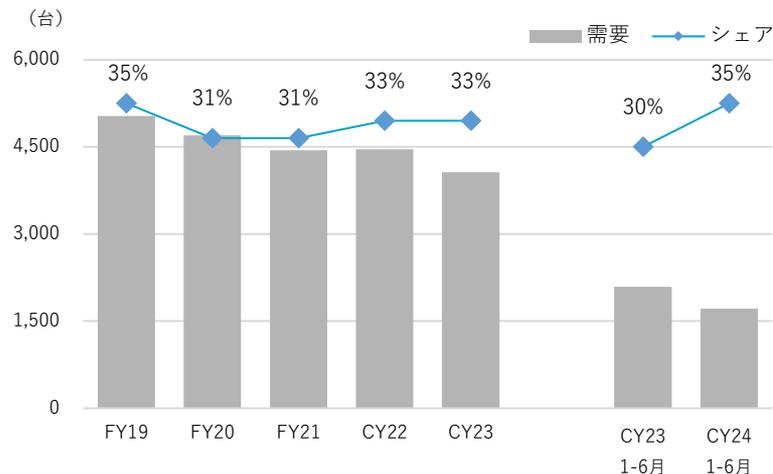


NUL07E-7

高所作業車売上高推移(タダノ / タダノユティリティ)



日本需要・シェア推移(トラック架装式)



※22年度に連結対象会社の決算日を12月末に統一したため、FY21以前は3月期決算、FY22以降は12月期決算となります。
また決算期変更の経過期間となるFY22は9ヶ月変則決算数値となります。

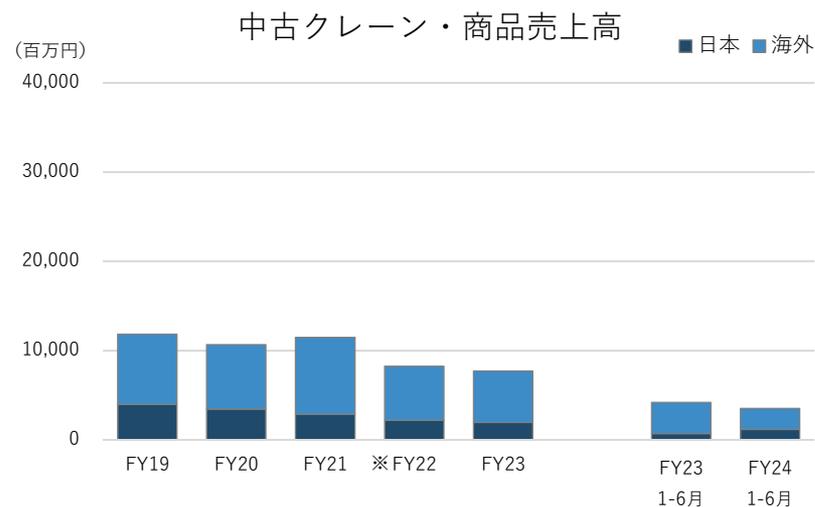
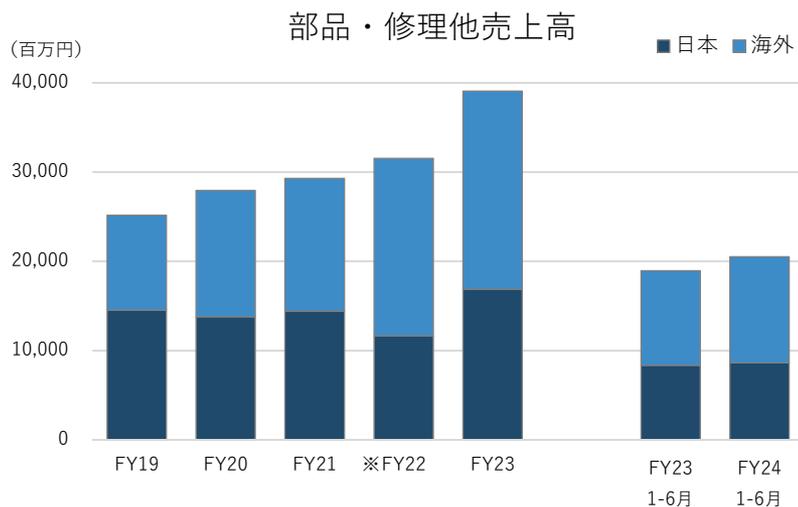
※FY:4月～3月, CY:1月～12月

その他

✓ 部品・修理の売上増加

(単位：百万円)

	23年	24年	増減	
	1-6月	1-6月	金額	増減率
部品・修理他	18,961	20,522	1,561	8.2%
中古クレーン・商品	4,187	3,522	△ 664	△15.9%
合計	23,148	24,045	896	3.9%



※22年度に連結対象会社の決算日を12月末に統一したため、FY21以前は3月期決算、FY22以降は12月期決算となります。
また決算期変更の経過期間となるFY22は9ヶ月変則決算数値となります。

24年度業績予想

(単位：百万円)

	23年 1-12月		24年 1-12月 予想		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
売上高	280,266	100%	315,000	100%	34,734	12.4%
営業利益	18,349	6.5%	20,000	6.3%	1,651	9.0%
経常利益	16,367	5.8%	17,000	5.4%	633	3.9%
親会社株主当期純利益	7,773	2.8%	9,500	3.0%	1,727	22.2%

※2月14日付発表の業績予想は変更していません

USD	140.6円	140.0円(7月以降)
EUR	152.0円	155.0円(7月以降)

※2月14日付発表の業績予想における為替レート USD：140.0円, EUR：155.0円
を据え置いております

1株当たり配当金	中間	4.0円	中間	10.0円
	期末	15.0円	期末	13.0円
	年間	19.0円	年間	23.0円

※2月14日付発表の配当予想は変更していません